



# ぼらんていあ通信

No.424

2017年3月22日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp http://sagamiva.wordpress.com/



## 新春 ボウリング大会

三月十八日(土) ボランティア協会主催の恒例となったボウリング大会が相模原パークレーンズで行われました。

参加者は施設通所者、障がい者団体、その家族ボランティア総勢六十二名でした。

一階へは階段のため、いつも自衛隊座間駐屯地曹友会の人達で車椅子の方を上げてくださいます。心強い限りです。

一階で受け付けを済ませ、十八レーン貸切の三階へ。それぞれ決められたレーンにつくと、早速ボール運びです。なかなか難しいようです。

九時、鈴木実行委員長の司会で始まり、西本会長と会場をすつと提供して下さっている相模原パークレーンズ江頭マネージャーさんが「張り切りすぎないよう頑張ってくださいね」と挨拶。

始まりの合図で一斉に、にぎやかに気持ちのいい音が館内に響き渡ります。五分間の練習後、第一ゲームのみが採点となり、その後は時間までは自由に楽しみました。すべこあちこちからスベア、ストライクとハイタッチの賑やかな姿が見られました。家族連れも多く、ボールの行方を追う歓声を上げていました。

この会も三十三年続いていて、楽しみにしている人も多いようです。来年もお待ちしております。成績は次のようでした。

優勝 吉原君子さん (相身連)

準優勝 矢盛 晶さん (サポートステーション)

三位 吉村彩さん (グループA)

トロフィーと賞品が贈られました。おめでとうございます。他にも、飛び賞、介護で賞、フービー賞参加賞がありました。

(勝部・杉崎)

お知らせ

### 新しいあじさい連絡所

事務局委員長 小野明雄

ボランティア協会連絡所は、あじさい会館四階から二階へと、無事に引っ越しが終わりました。

場所は、四階のこれまでと同じ位置、階段を上がって右側、入口からは左の奥です。

違いは窓、西側に曲面の窓と西側に二つの飾り窓があります。明るく、広さが違います。

働きやすい、ホッとできる事務所になりました。

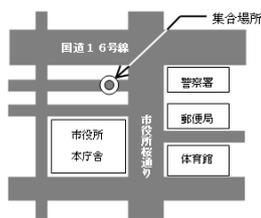
新鮮な光を取り入れ、遠くを見据えたボラ協の活動を期待しましょう。

### パレードに参加しよう!

第44回相模原市民桜まつりでは、当協会もハンディキャブ号とセダン型自家用車をともなうパレードに参加し、PR活動を行います。

パレードは4月2日(日)午前11時頃出発予定です。時間前に16号線から1本市役所寄りの道路に集合してください。ひとりでも多くの会員の皆様の参加をお願いします。

ハンディキャブ委員長 加藤修



第1回目

平成二十八年度ホラんティア入門講座  
傾聴活動入門講座開かれる！



人と話す機会が少なく誰かと話したい、話を聞いてもらいたいと願っている人にホラんティアが寄り添い話を聴いて、心のケアに係わる活動が「傾聴ホラんティア活動」である。一月十七日(金)午後一時三十分から、田園調布学園大学名誉教授荒木乳根子先生(臨床心理士)を講師にお迎えし、三回ある傾聴講座の第一回があじさい会館六階展示室で開催された。

司会の小川紀江さんから紹介された西本敬ホラんティア協会会長は「現代社会ではあらゆる場面で人々の孤立化が進んでいる。行政の手の入らない部分にホラんティア活動の余地があり、今回の傾聴講座を終えたらそれでお終いにせず、具体的な活動に結び付けて欲しい」と挨拶された。荒木先生は、専門的な話をされる前に「リタイアして四年になるが、今も月に三回相談業務に携わっている。介護している人の負担を具体的に減らすことはできないが介護者に寄り添って話を聴くと、介護に対する心構えができて心が軽くなる」と言ってもらっている「傾聴の大切さに触れられた。以下は講義の要約。」

①傾聴の基本姿勢

相手の話を一生懸命聴き、相手を批判、非難するのではなく、相手を受け容れる姿勢、相手の立場に立って相手の目線で話を聴き相手の内的感情をそのままする。

共感の姿勢が大切。

②ラポールの形成

話し手と聴き手の間に、信頼と安心が



専門的なお話しもわかりやすく

芽生え、心の交流が生まれる状態を言います。相手の目線、動作、言葉や声のトーンなどを読み取ることも、話す際の座る位置、姿勢、表情に気をつける。

③傾聴(カウンセリング)の技法

はい、いいえなど短い言葉で答えられない開かれた質問か、質問は、はい、いいえで答えられない開かれた質問か、話し始めのきっかけには開かれた質問はよいが、相手の気持ちを聴きたすには開かれた質問がよい。いずれも相手によるが、併用もできる。

また、話を聴き終わった後、話の要点やキーワードを繰り返すのは、相手の思いを中断せずにつなげて話せるように促す意味があり、受け止めてくれたと言った安心感を話し手にもたらす。

講義中に、三人一組のグループに分かれ傾聴の疑似体験をし、その様子を発表するという演習が入るので、結構面白く時間のたつのがとても早く感じられた。(山崎)



あなたの一番好きなパンは何？

4月の記念日は？

小倉義男

4月12日、パンの記念日です。

天保13年旧暦4月12日(1842年5月21日)、伊豆韮山代官の江川英龍が軍用携帯食糧として作った乾パンが、日本で初めて焼かれたパンだといわれることから、パン食普及協議会が1983年3月に制定したそうです。イラストは、自分の好きな塩パン、カレーパン、ドーナツです。(小倉画)



小倉画

Twitter Part1

ほらんていあ通信版  
ツイッターコーナー

和田雅代



光陰矢の如し。少女年若いやすく学成り難し。漢詩を持ち出すまでも無く肌で実感する年齢である。大学卒業以来の様々なことが、仕事や子育てに追われ「あっ」と思いつきの出来事のように感じてしまう。定年退職後、人の勧めもあり本ホラんティア協会にお世話になったが現役時代には感じなかった人の優しさに触れることが出来た。一例を挙げれば病院や買い物物の送迎を担当しているホラんティアドライバーの方々にあつた。私以上に高齢の方が多くその上長時間に及び相当ハードな業務が多い中、事務局から要請に対して快く引き受けて頂き、電話での対応も優しく謙虚な人柄を強く感じてしまうことが多い。気力、体力は必須であるがそれプラスの心遣いなのだ。どこか使命感の様なものをお持ちに違いないいつも想っている。(続々)

\*楽しいお話は来月に続きます。お楽しみに！

クイズに挑戦

難読漢字クイズです。かゝりかゝりの動物の名前、いくつか読めるかな？



- ①海豹 ②水龜 ③海驢 ④信大翁 ⑤馬大頭
- ⑥蝸牛 ⑦蟾蜍 ⑧鸚鵡 ⑨椿像(or 龜虫)
- ⑩磯巾着 ⑪鱒虫 ⑫鷺鳥 ⑬鍬形虫 ⑭海豚
- ⑮郭公

\*答えを探して、ページをめくってね。

神奈川障害者職業能力開発校を訪問

おジャマシマ



ハローワークを通して入校相談を  
知識・技術・技能を習得し就労へ

神奈川障害者職業能力開発校の訓練生は、ほかほ  
かふれあいフェスタや障がい者キャンペーンなど  
の行事で、広報ポスターのデザイン等で参加協力を  
している。どのような開発校なのか知りたいとい  
うことで、取材の許可をもらい訪ねるようになった。

先月二月二十一日水古淵から小田急相模原行き  
のバスで「第一住宅」下車、相模原こどもセンター  
の後ろ側に開発校の通用門入り口があった。  
江尻教務課長と相原先生に連れられ、まず、平野  
校長にお会いした。「まだ広く一般に知られていな  
いので今回の開発校紹介で幅広く知ってもらってこ  
とを期待しています」と言葉をかけられた。  
その後、面談室で、用意された資料をもとに、江  
尻課長から、開発校の沿革や職業訓練の内容につい  
て大変詳しく説明していただいた。



江尻課長(左)と相原先生(右)

全国に十三校ある国立の障害者職業能力開発校の  
一つで、国が設置し、神奈川県が運営を委託。現在  
は、職業能力開発促  
進法に基づき身体  
知的及び精神障害  
のある方を対象に  
職業訓練を行い、就  
労につなげていく  
という目的を担っ  
ている。



- ・身体障害者対象(五コース)  
CAD技術コース(二年制 定員10)  
ITエキスパートコース(二年制 定員10)  
ITサポートコース(二年制 定員10)  
グラフィックデザインコース  
(一年制 定員10)
- ・ビジネスサポートコース  
(一年制 視覚障害者対象 定員10)
- ・身体障害者・知的障害者対象(二コース)  
ビジネスキャリアコース(一年制 定員10)
- ・知的障害者対象(二コース)  
総合実務コース(一年制 定員15)
- ・精神障害者対象(二コース)  
ビジネス実務コース(六カ月制 定員10)

入校希望者は、まず開発校  
に行き、実際の訓練を見学し  
たり体験してから、地域のハ  
ローワークに出向き、開発校  
に入校して技能を身に付け仕  
事したいと相談し、求職登  
録し必要事項を記入した書類  
を提出し入校申し込みをする。すべてハローワークを  
通すことが求められる。入校選考には、学力検査、適  
性検査、運動機能検査、面接などがあるが、コースに  
よって違うので確認する必要がある。



3Dプリンターによる楽しい作品

入校が決まると、訓練の他に年数回、就職ガイダン  
スがあり、就職のための面接の心得や模擬面接、職場  
でのマナーや職業意識の醸成、企業実習などもある。  
相原先生が校内を案内して下さったが、一階建てな  
がらその広さにはびっくりした(面積28,224  
㎡)。体育館から出てきた訓練生達(すれ違ったが、み  
んな明るい声で挨拶してくれ、取材する私たちが若々



ポスターなどの素晴らしい作品

さ溢れるエネルギーをもらった  
ように感じた。  
3Dプリンターを利用した  
作品に感心したし、ポスターの  
出来栄は見事だったし、品出  
しや仕分けなどの訓練用の商品  
が本物そっくりに出ていた。

また、障害者の方々が技能を競い合うアビリンピック  
大会というものがあり、県の予選を通過すれば全国  
大会に出場することも出来るのだそうだ。  
この開発校には、県内在住の人  
に限らず県外でも応募でき、身体  
障害のある方は寮に入居すること  
できる。ただし、入寮選考がある。  
就職後二年はフォローアップと  
して企業の訪問など企業と連携を  
取りながら定着指導をしてくれる  
そうだ。修了生の皆さんが選べる  
ほどの求人数が増えればよいと願  
いたい。(植野・山崎)



国立県営 神奈川障害者職業能力開発校  
〒252-0315  
相模原市南区桜台13-1  
TEL 042-744-1243  
FAX 042-740-1497



クイズの答え

- ①あざむし ②あめんぼ ③あしか ④あまごり
- ⑤おじやんま ⑥かたしむり ⑦かまきり
- ⑧おひめ ⑨かめくち ⑩ごんきやうりや
- ⑪くわむし ⑫がぢやうじ ⑬くわがたむし
- ⑭いるか ⑮かこじ

\*虫も目覚める季節になりましたね。

理事のついで

「私のボランティア寄付文化について」

理事 町田 紘一

二〇〇五年篠田さんに誘われてボラ協に入り、いきなりネットワーク担当理事と、村田理事の後を任された。その頃はボランティアとは何をこのようにしたらよいか、何もわからず、誰も教えてくれない中、がむしゃらに各地区のボランティア団体のリストを頼りに地区ボラを訪問、取材。

妻は一九七三年背髄がんで、死を、二人の国立病院医師に宣告された。私は無我夢中で妻の看病と子供の世話、住宅ローン、教育費などのため、拘束される会社勤めを辞め、設計事務所を自宅で開業、半年後に新宿に会社を設立、五名程度の社員を抱え、全国の有名旅館や、六本木、新宿、大阪、福岡などの某有名ホテルの電気設計を任せられ、自慢のできる仕事が出来た事は、ボランティアさんのおかげと感謝。妻は死の宣告後一年半で国立病院を飛び出し、周りの反対を押し切って車の免許を取り、老人福祉相談員や車いす友の会の婦人部長、会長、相身連の役員、小中学校の福祉講話等、体の傷みも吹き飛ばし、車いす友の会のスローガンの一つである「障がいに甘えず税金を払えるような人になろう」を自分に言い聞かせ動いていた。私がボラ協に入ったのは、妻や子供たちが立派に生活している事はボランティアさんのおかげであることに対するお礼の意味もあり、篠田さんのお誘いによるものだった。四年間地区ボラの取材を中心にネットワーク作りを模索し三十四団体の活動内容を冊子にまとめた。その後四年間は妻の入院や、勤めている作業所の関係でボラ協を離れ二〇一二年再度ボランティア協会に入会、一年間はハンディキャップ担当、現在は情報戦略担当として今に至っている。

日本では、阪神大震災がボランティア元年といわれている。ボランティアについては学校で授業の一環として学んでいるところも多いのだが、災害時の寄付を除くと寄付については習慣はなく、特定の団体に寄付をする環境、意識も少なく先進国中、ボラ意識、寄付ともにアメリカンで最下位。

特に福祉関係は、先進国のNPO法人の運営は市民の寄付でおこなわれているケースが多いようだが、日本では国や市の補助金を運営資金にしているところが大半で思いつく。ボランティアは無料、無関心という慣習を打破し、ボランティア活動をして頂ける人に、喜びと遣の甲斐と誇りを持って活躍できるような環境作りが必要だ。日本は思いやりのある素晴らしい国。それに恥じないためにも寄付文化を育て、喜んでボランティア活動をしてもらえる環境づくりが必要と思う。

私は、二年前から企業の紹介記事を相模原青年会議所様を中心にほらんていあ通信に掲載し、季刊情報誌「わくわく」に会社紹介記事のご協力を頂いており、毎号四〜六社から協力を頂ける状態になった。企業と連携し、ボランティアの育成、市民の意識向上、自治会と協働でボランティア活動ができることを目標に活動を続けていけたらと思っている。

一億総活躍社会、政府のスローガンだが、高齢者障がい者を問わず、出来ることを、出来るときに、楽しみながら社会に貢献できるボランティアとそれを支える笑顔一杯の社会。そんな雰囲気作りが出来ること、安全安心なやさしい世の中に近づくとと思う。進んでボランティアをしたい、そんな世の中を後世に残したいと願っている。

ボランティア協会 4月のよてい

日	時間	内容
1(土)	10時~	桜祭り：13時~
2(日)	8時~	桜祭り：10時~
5(水)	15時	定例理事会
8(土)	13時	事務局委員会
11(火)		黄色いシートキャンペーン
15(土)	10時	HC委員会
19(水)	15時	臨時理事会
21(金)	19時	ほかふれ実行委員会
24(月)	13時 13時半	ぼら通印刷 総合企画委員会 情報戦略委員会
25(火)	13時	ぼら通発送

理事会報告

三月一日(水) 十五時から(理事七名)

◆情報戦略委員会

- ・ホームページ改修はドメインを新たに取得、サーバー契約をする方向で担当者を進めている。
- ◆ハンディキャップ委員会

- ・利用料金改定のチラシを利用者に配布している。(大半の利用者は改定を承知されている)
- ・十号車の車検が二月に終了した。
- ・南区で七月に講座を計画。

◆総合企画委員会

- ・傾聴活動周知チラシを中央区の十箇所の高齢者支援センターへ三十部ずつ配布した。

◆事務局委員会

- ・企業からの寄付金については、その都度礼状を添えて領収書兼寄付金受領証明書を発行する。
- ・会員登録の更新依頼書を二月分の「ぼら通」に同封した。

◆講座検討委員会

- ・春講座は傾聴活動入門講座を三回開催した。
- ◆予算執行状況

- ・ほぼ、予定通りに推移している。切手グループからの寄付金が大きく寄与している。
- ◆総会に向けての検討事項

- ・NPO法改正に伴い、貸借対照表の公告方法を定款に定める必要があり、定款の改訂を総会に諮る。
- ◆その他

- ・桜祭りはけやき体育館のバザー、福祉コーナーの模擬店、二日のパレードにはハンディキャップ号、セダン、車椅子で参加。
- ・事務所移転。四階から二階へ、十七日、十八日に移動作業、二十一日から二階で事務を再開。

次回理事会 四月五日(水)

イベント情報

地域デビューを応援します！

ボランティアセミナー

日時と場所

①四月十二日(水)

午後一時半～午後三時半

ケアプラザさがみはら

②四月二十一日(金)

午後一時半～午後三時半

あじさい会館

③四月二十一日(金)

午後一時半～午後四時

おおのながボランティアセンター

内容

ボランティア活動の基礎知識と実践の活動、事例紹介、車いす体験等。また、それぞれの地域にある地区ボランティアグループの紹介体験などを実施。

セミナー終了後、六十五歳以上の方のボランティア活動を紹介する「ふれあいハートポイント事業」の説明を行います。

問合せ・申込

①緑ボランティアセンター

電話：042・775・1761

②中央ボランティアセンター

電話：042・786・6181

③南ボランティアセンター

電話：042・765・7085

相模原市内4月のイベント情報

(市商業観光課HPより抜粋)

○おおのなが桜まつり

開催日時

四月一日(土) 正午から午後四時

四月二日(日) 午前十時から午後一時

開催場所 上大島キャンパス場

相模川自然の村公園

○相模原市民桜まつり

開催日時

四月一日(土) 午後一時～五時

開催場所 市役所さくら通り他

○津久井湖さくらまつり

開催日時 四月八日(土) 九日(日)

午前十時から午後四時ごろ

開催場所 県立津久井湖城山公園

水の苑地・花の苑地

○相模川さくらまつり

開催日時 四月二日(日)～十六日(日)

開催場所 南区新戸・磯部地先の堤防

○相模大野アートクラフト春の市

開催日時 四月二十三日(日) 雨天中止

午前十一時から午後五時

開催場所 小田急線「相模大野駅」前

○泳げ鯉のぼり相模川

開催日時 四月二十九日(土・祝)

～五月五日(金・祝)

開催場所 相模川高田橋上流

○相模湖やまなみ祭

開催日時 四月二十九日(土・祝)

午前九時四十五分～午後二時 雨天中止

開催場所 県立相模湖公園

○与瀬神社例大祭

開催日時 四月十五日(土)

開催場所 与瀬神社他

相模原市で活躍する会社紹介

弁護士法人 相模原法律事務所

創業 1995年4月1日

(所属弁護士)

弁護士 伊藤 平信(いとう へいしん)さん

弁護士 伊藤 信吾(いとう しんご)さん

弁護士 片倉 亮介(かたくら りょうすけ)さん

2017年 相模原青年会議所 副理事長

弁護士 中山 峻介(なかやま しゅんすけ)さん

弁護士 松本 泰吉(まつもと しんきち)さん

※いずれも神奈川県弁護士会所属

本店所在地 〒252-0236

中央区富士見6-6-1大賀ビル2階

電話 042-756-0971

FAX 042-756-0973

ホームページ: <http://sagami-law.jp>

■私たちの経営理念 一地域とともに 法の心を育む一

私たちは、弁護士として地域の様々な法的ニーズを的確に受け止め、法律サービスを展開しております。

しかしながら、私たちは、単に現在の「法律サービス」を提供するだけではありません。それとともに、事件や課題に携わる様々な立場の方々と「法の心(リーガルマインド)」を共に考え理解し、実践する第一歩となるような案件処理を心がけています。

「なぜ、法律はそうなっているのだろう?」そんな市民の皆様の素朴な質問に丁寧にお答え致します。「法の心」とは、社会正義であり、公平性であり、一人ひとりの個性の尊重です。また、「法の心」は豊かな隣人愛に満ちています。

多くの市民・企業が「法の心」を実践することにより、私たちの社会は、トラブルのない豊かな社会となるでしょう。

それが、私たちの夢です。

弁護士法人相模原法律事務所は、相模原市内3区それぞれに事務所を置き、できるかぎり地域の皆様が気軽に充実した法的サービスをお受けになれるよう、心がけております。当事務所では、売買、不動産関係、貸金、交通事故、相続、離婚、債務整理(破産、民事再生、任意整理等)等の民事事件から刑事事件、少年事件まで幅広く取り扱っており、全5名の弁護士が対応できる体制を整えております。弁護士事務所に相談するということは、とても緊張することだと思います。当事務所の弁護士はフランクな弁護士ばかりですので、どうぞ緊張なさらずにご来所下さい。

開所時間; 平日、9:30~17:00(12:00~13:00 昼休み)

※事前予約により、早朝・夜間や土・日・祝日もできる限り対応します。

# ハンディキャブ事業の登録更新

## ハンディキャブ事業



この度、当協会のハンディキャブ事業（福祉有償運送事業）登録の更新申請（二年毎）に対し、神奈川県運輸支局から「登録証（左記）が戻りました。

今回はセダン型運行（運転者の自家用車を使用して行う運行）を導入してから初めての更新となり、申請準備に多くの運転者・事務員の方の協力をいただきました。

特選第1134号

自家用有償旅客運送者登録証

道路運送法第79条の3の規定に基づき、下記のとおり自家用有償旅客運送者として登録を行ったことを証する。

記

- 登録番号  
関神福第132号
- 登録の有効期間  
平成29年2月28日から  
平成32年2月27日まで
- 名称、住所、代表者の氏名  
名称 特定非営利活動法人 相模原市ボランティア協会  
住所 相模原市中央区登木1丁目11番11号  
代表者氏名 西本 敬
- 自家用有償旅客運送の種類  
福祉有償運送
- 路線又は運送の区域  
相模原市
- 登録に付す条件  
特になし

平成29年2月2日

関東運輸局神奈川運送支局長 漢野 忠弘

標題：  
自家用有償旅客運送者登録証

登録番号：  
関神福第132号

登録の有効期間：  
平成29年2月28日から  
平成32年2月27日まで

発行者：  
関東運輸局神奈川運輸支局長

### 仲間

## ハンディキャブのボランティアに参加して

平成二十一年から今年で七年になります。その間、今も平日は仕事をしていますので、土・日が活動の場になっています。

実を言いますと、このハンディキャブのボランティアを始めると、別のボランティア活動（おもちや病院でのおもちやの修理）をもするかどうか迷っていました。こちらは趣味を兼ねていたので、同時にスタートしました。月の内、仕事以外の土・日はどちらかのボランティア活動に参加しています。ほとんどのハンディキャブは月二日が二日の活動になり、心苦しいです。

しかし、この七年間いろいろのことがありました。お迎えにお伺いして、怒られたり、キャンセルされたり、時間が間に合わなかったり、すでにタクシーで先に行かれたり、と様々な出来事がありました。でも、今もめげずに参加しています。待っている方がいらつしやると思つたよりはむしろのボランティア活動も必要だとつくづく感じています。

今後とも空いている時間がありましたら活動して行きたいと思っています。しかし、年齢も後期高齢者に入ってきました。安全に運転を続けられるかどうか不安があります。その時期を自分で判断していきますが、安全が確保できなくなるのは、そう遠くない時がいつか訪れると思います。その時期はいつ訪れるか判りません。心して体への勝負です。それまでは頑張りますので、ぜひご一緒をお願いします。

ハンディキャブ歴七年  
濱村嘉允（はまむらひよしひこ）

### 運行ノウハウ

## 運行日誌の様式が一部変わります

既にご案内のように、本年四月一日より利用料金が改定（迎車回送料金を追加）されます。それに伴って運行日誌の様式が変わります。主な変更箇所は「利用料金欄」（左記）です。ご確認をお願いします。

変更点（主なもの）は次の通りです。

- 利用件数と利用料金の記入欄を分けました。
- 迎車回送料金を設けました。
- 合計欄を設けました。

利用件数	<input type="checkbox"/> 1件（片道運行） <input type="checkbox"/> 2件（例、往復運行） <input type="checkbox"/> 件（例、目的地が2か所以上の運行）
【備考】利用件数の数え方 利用者が「乗車してから降車するまで」の1回の行程を利用件数「1件」とします。	
利用料金（運行料金+迎車回送料金）その他の明細	
運行料金	円
迎車回送料金	<input type="checkbox"/> 利用件数1件（片道運行） 150円
	<input type="checkbox"/> 利用件数2件以上 300円
その他	<input type="checkbox"/> 年会費 円
	<input type="checkbox"/> 賛助会費 円
	<input type="checkbox"/> ご寄附 円
合計	円

注意！！  
利用件数の数え方

利用件数欄：  
1. 三つの口の内一つに✓印を記入  
2. 3件以上の場合、件数を記入

迎車回送料金額欄：  
二つの口の内一つに✓印を記入

## 地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL4

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”  
「福祉コミュニティ形成事業」等の各地区の取り組み

### だれでも参加できる居場所づくり

#### 城山地区社会福祉協議会 熊谷達男 会長



「近所付き合いが薄い」、  
「赤ちゃんから高齢者ま  
で気軽に集える憩いの場がほしい」という声から、交流の場  
「若葉ほっこりーな」や「ふれあいカフェ」（久保沢地区）  
を開催しています。「若葉ほっこりーな」では、買い物に不  
便をしている高齢者も多く、ボランティアとして“お助  
け隊”が自宅前から車で買

い物の送迎なども行っています。

また、今年度から「小松・城北」里山をまもる会の協力を  
得て、畑作業や収穫を通じ、地域と外出の機会が少なく  
引きこもりがちの人との交流を深めようと「しろやまふれ  
あい農園」の活動がスタートしました。

★平成 28 年 4 月 1 日現在  
人口 23,770 人  
高齢化率（65 歳以上） 28.5%  
年少人口率（14 歳以下） 12.7%



### 困り事を発見・把握する仕組みづくり(見守り活動)

#### 津久井地区社会福祉協議会 今井俊昭 会長

★平成 28 年 4 月 1 日現在  
人口 26,400 人  
高齢化率（65 歳以上） 32.3%  
年少人口率（14 歳以下） 9.6%



「やすらぎステーション」の様子

津久井地域で展開する  
「やすらぎステーション」  
は、区内 9 支部ごとに、  
月 1 回、高齢者の介護予防や住民交流を目的に、地域セン  
ターや自治会館等を利用し、体操やおしゃべり会、小学生と  
の交流等様々な活動を展開し、  
年間延べ 5,000 名を超える  
多くの方々が参加しています。

その他、小網地域をモデルに「小網ふれあいネットワー  
ク」をスタート。安心して住み続けられる福祉のまちづく  
りを目指して民生委員・児童委員の協力のもと地域住民に  
よる戸別訪問を行っています。対象者は原則 75 歳以上の  
人で、ネットワークのメンバーが懐中電灯・水・ビスケット  
・個人状況票が入る「安心袋」を配布。袋の中の賞味期限のある物を半年ごとに  
交換するために訪問し、併せて「見守り」を行っています



戸別訪問と「安心袋」

# ボランティアさん募集!

## 登下校時の見守り

- 内 容 相模原中央支援学校の生徒が登下校する際、学校周辺での見守り活動。
- 日 時 ① 登校時 : 月・水・金曜日午前8時~8時45分  
 ② 下校時 : 月~金曜日午後3時~3時30分  
 ※希望曜日等は応相談
- 場 所 ① 登校時 : 国道16号線高根1丁目交差点ラーメン店付近  
 ② 下校時 : 中央支援学校校門付近
- ※活動時に着用するパトロールベスト配布



### 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982  
 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042(786)6181

## 相模原市民桜まつりに参加しませんか?(募集継続)

### ボランティア募集

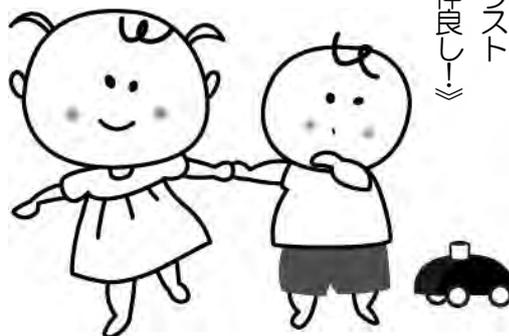
- 内 容 パレード参加・福祉ゾーンバザーやボラ協コーナーの運営のお手伝い。  
 また、各ブースの準備や片付けのお手伝いや声かけなど
- 日 時 平成29年3月31日(金)~4月2日(日) ご都合のよい日に2時間~
- 場 所 市役所周辺の桜まつり会場内

### バザー品募集

ご家庭で不要な物(古着以外)、ご寄付いただける手芸品や材料などをご提供いただけませんか?  
**収集期間: 3月21日(火)~3月31日(土)の10時~17時(日曜を除く)**  
 あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡いただければ、日時を調整し、お伺いいたします。

連絡・問い合わせ先 相模原ボランティア協会 あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

編集後記  
 良い天気の日曜日の正午、玄関のガラス戸をあけ「おっと」と二足の足を止める。  
 日溜まりのマットの上を黒い小さな物が動いている。よく見ると蟻である。また三月、中旬である。気が早いのか、元気のかな。そっか、もう春です。  
 私達も良い天気の日には元気に歩きまわらましよう。歩へが、一番です。ある中老の独り言。(勝)



《今月のイラスト》

…仲良し〜

今年登録のお願い(甲斐)  
 来年度の会員登録が二月一日から始まりました。あじさい連絡所、または郵便振込で更新手続きができます。現在の登録状況を記載した登録票を二月に送付しましたので、ご確認ください。よろしくお願ひします。

